

経営比較分析表（平成30年度決算）

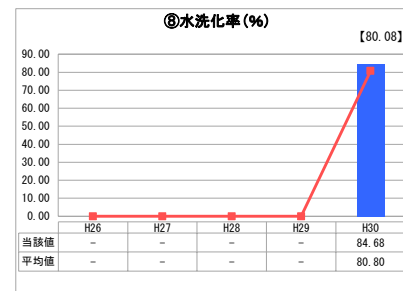
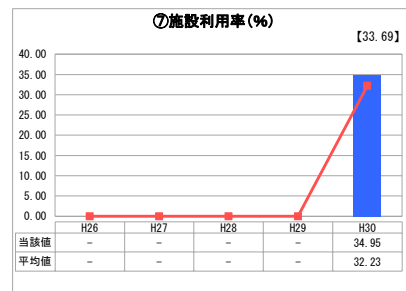
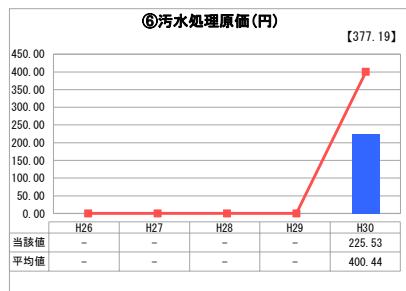
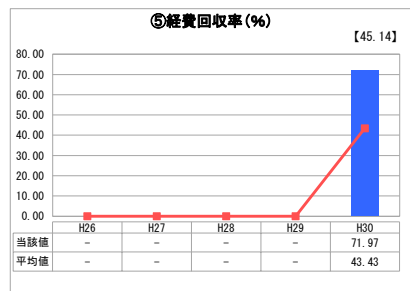
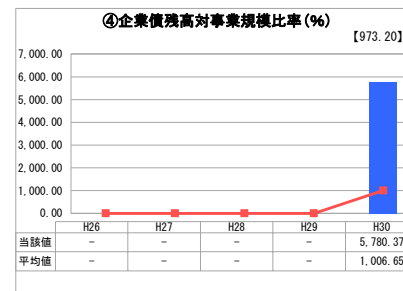
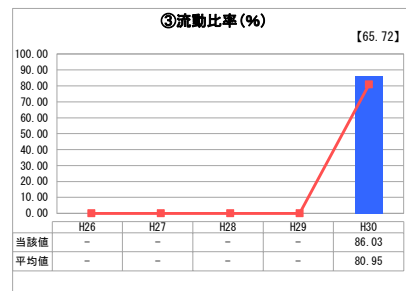
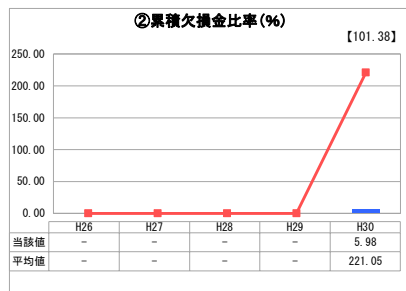
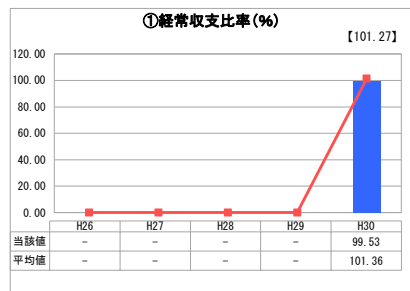
石川県 七尾市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	漁業集落排水	H2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
-	45.59	3.92	95.65	3,348

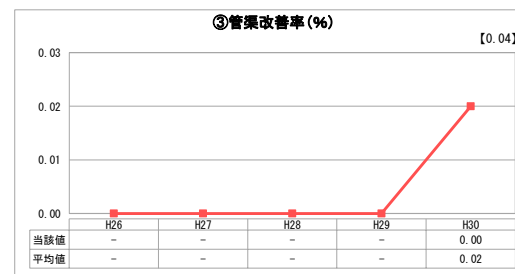
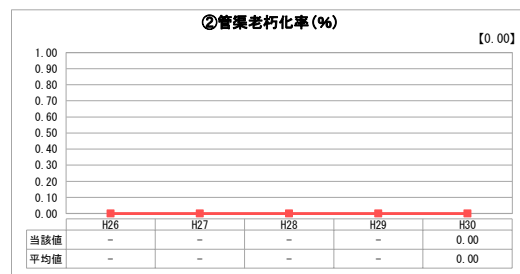
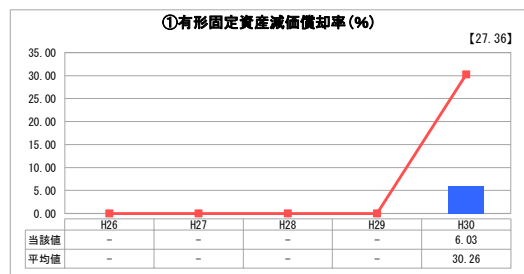
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
52,940	318.29	166.33
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
2,062	1.66	1,242.17

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

④企業債残高対事業規模比率が、使用料収入に対し整備事業に要した企業債の残高が大きいことから類似団体と比較すると高い状況にあり、使用料収入の減少から今後増加していくと思われる。
 ⑤経費回収率及び⑥汚水処理原価については、分流式下水道等に要する経費の見直し以降、数値に改善が見られる。
 ⑦施設利用率や⑧水洗化率は、類似団体と比べ同程度であるが、人口減少の著しい事業地域が多いことから、今後、有収水量の減少による影響が懸念される。

2. 老朽化の状況について

供用開始から10年あまりの処理区が多く、管渠については、更新工が必要な老朽化は見られない。一方、マンホールポンプや処理場の耐用年数の短い機械設備等において老朽化による機能低下がみられ、修繕や更新が必要になっている。
 今後は、老朽化により腐食が発生しやすいヒューム管等の管渠や処理場の機械設備等の更新が必要となってくるため、適切な更新計画により計画的な更新を行う必要がある。

全体総括

水洗化率等の向上と使用料の見直しにより収入の確保に努める。また、農業集落排水等の他の事業との一体的な維持管理により費用の縮減に努め、老朽化による管渠や処理場の更新についても計画的に実施することにより費用の平準化を図り、経営の健全化に努める。
 なお、当該事業は平成30年度より地方公営企業の一部を適用している。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。